



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 サンセイ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6307 URL <https://sansei-group.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）小嶋 敦

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）西村 直樹 TEL 06-6395-2231

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,190	2.7	△118	—	△125	—	△112	—
2024年3月期中間期	2,132	6.8	△1	—	△0	—	6	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △114百万円（-%） 2024年3月期中間期 18百万円（-%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間 純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△14.50	—
2024年3月期中間期	0.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	5,891	4,243	72.0	545.99
2024年3月期	6,841	4,473	65.4	575.67

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,243百万円 2024年3月期 4,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△7.8	400	△4.8	400	△5.2	280	△14.1	36.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	8,987,700株	2024年3月期	8,987,700株
2025年3月期中間期	1,215,875株	2024年3月期	1,215,875株
2025年3月期中間期	7,771,825株	2024年3月期中間期	7,771,826株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績は好調を維持しており、また所得環境の改善等による個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が見られました。一方で、海外の金融市場の不安定化や、紛争リスク等の懸念から、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの係わる建設業界におきましては、労務費や資材価格の高騰による建設コストの高止まりの影響から、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、受注高3,174百万円(前年同期比16.4%増)、売上高2,190百万円(前年同期比2.7%増)となり、営業損失118百万円(前年同期は営業損失1百万円)、経常損失125百万円(前年同期は経常損失0百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失112百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益6百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ゴンドラ・舞台

当セグメントにおきましては、受注高2,321百万円(前年同期比23.2%増)、売上高1,568百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント損失61百万円(前年同期はセグメント利益30百万円)となりました。

#### ② 海洋関連

当セグメントにおきましては、受注高852百万円(前年同期比1.3%増)、売上高622百万円(前年同期3.4%減)、セグメント利益107百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における総資産は5,891百万円となり、前連結会計年度末の6,841百万円から949百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金並びに受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,648百万円となり、前連結会計年度末の2,367百万円から719百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は4,243百万円となり、前連結会計年度末の4,473百万円から230百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上並びに剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は72.0%となり、前連結会計年度末の65.4%から6.6ポイント上昇しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正はしておりません。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,670,067	1,010,740
受取手形、売掛金及び契約資産	1,925,811	1,607,831
仕掛品	29,532	199,434
原材料及び貯蔵品	27,677	23,884
その他	39,730	82,328
貸倒引当金	△2,150	△2,105
流動資産合計	3,690,668	2,922,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	308,581	310,238
機械装置及び運搬具(純額)	111,379	95,827
工具、器具及び備品(純額)	54,403	96,240
土地	1,837,872	1,837,872
建設仮勘定	49,164	20,000
その他(純額)	0	20,833
有形固定資産合計	2,361,400	2,381,012
無形固定資産	30,188	30,086
投資その他の資産		
投資有価証券	156,790	54,539
繰延税金資産	107,089	144,912
保険積立金	395,879	243,098
その他	99,116	115,564
投資その他の資産合計	758,875	558,114
固定資産合計	3,150,465	2,969,214
資産合計	6,841,134	5,891,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,835	168,744
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	118,670	218,672
未払法人税等	37,938	31,951
賞与引当金	121,996	122,338
役員賞与引当金	6,570	3,157
工事損失引当金	227,999	258,564
その他	289,676	339,931
流動負債合計	1,782,686	1,173,360
固定負債		
長期借入金	225,162	115,825
退職給付に係る負債	287,783	303,540
その他	71,524	55,291
固定負債合計	584,469	474,657
負債合計	2,367,155	1,648,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,437	890,437
資本剰余金	104,015	104,015
利益剰余金	3,872,053	3,642,811
自己株式	△418,589	△418,589
株主資本合計	4,447,916	4,218,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,061	24,635
その他の包括利益累計額合計	26,061	24,635
純資産合計	4,473,978	4,243,310
負債純資産合計	6,841,134	5,891,327

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,132,804	2,190,635
売上原価	1,706,446	1,880,682
売上総利益	426,357	309,953
販売費及び一般管理費	427,705	428,003
営業損失(△)	△1,348	△118,050
営業外収益		
受取利息	82	52
受取配当金	613	841
補助金収入	1,000	—
固定資産売却益	—	708
その他	2,009	1,497
営業外収益合計	3,705	3,101
営業外費用		
支払利息	2,092	2,024
保険解約損	—	8,148
その他	643	576
営業外費用合計	2,735	10,749
経常損失(△)	△378	△125,698
税金等調整前中間純損失(△)	△378	△125,698
法人税、住民税及び事業税	11,454	24,159
法人税等調整額	△18,478	△37,193
法人税等合計	△7,024	△13,034
中間純利益又は中間純損失(△)	6,645	△112,664
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	6,645	△112,664

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	6,645	△112,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,670	△1,426
その他の包括利益合計	11,670	△1,426
中間包括利益	18,316	△114,090
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	18,316	△114,090
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,488,350	644,454	2,132,804	—	2,132,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,593	4,593
計	1,488,350	644,454	2,132,804	4,593	2,137,397
セグメント利益又は損失(△)	30,983	120,349	151,333	△803	150,529

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	151,333
「その他」の区分の損失(△)	△803
全社費用(注)	△151,877
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△1,348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゴンドラ・ 舞台	海洋関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,568,328	622,306	2,190,635	—	2,190,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	4,666	4,666
計	1,568,328	622,306	2,190,635	4,666	2,195,302
セグメント利益又は損失(△)	△61,804	107,361	45,556	743	46,300

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械の製造販売及びビル管理事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	45,556
「その他」の区分の利益	743
全社費用(注)	△164,351
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△118,050

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。